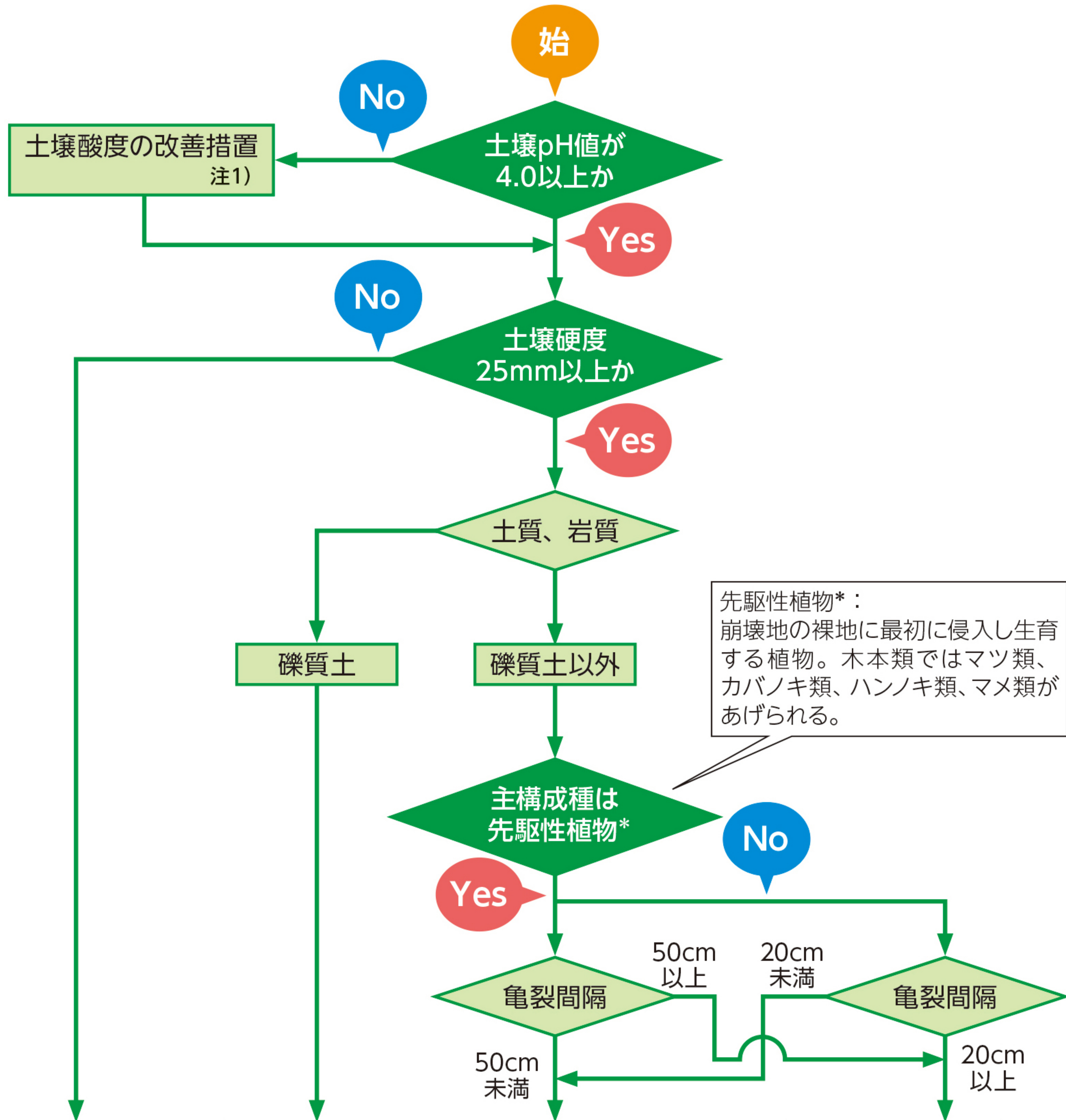


B：法面条件を基にした植生工の選定フロー（木本類播種工等）



先駆性植物*：
崩壊地の裸地に最初に侵入し生育する植物。木本類ではマツ類、カバノキ類、ハンノキ類、マメ類があげられる。

フロー工種	① 客土吹付工 (厚さ1~2cm)注2) 植生マット工注3) 木本植栽工	② 植生基材吹付工 (厚さ3~5cm)注2) 客土吹付工 植生マット工注3)	③ 植生基材吹付工 (厚さ5~7cm)注2) 植生土のう工 植生マット工注3) 植生基材注入工	④ 植生基材吹付工 (厚さ7~10cm)注2) 植生土のう工 植生基材注入工
非腐食 タイプ	グリーンホルダー	ガンリョクマット		
	レキゼンマット	5A型	5型	6型
亀甲金網付	キッコウホルダー	キッコウ ガンリョクマット		
		5A型	5型	6型
腐食 タイプ	エコホルダー	ガンリョクエコマット		
		5A型	5型	6型
補強鉄線付	リョクセンマット			
	※(K-) 5A型		※(K-) 6A型	
侵食防止 強化マット	ソイルテクター(表① 参照)			
ヤシ繊維ネット付 植生マット	ナチュラルパームマット (表④ 参照)			

製品区分：
植生マット (肥料袋付 2重織ネット)
厚層植生マット
植生袋付 植生マット
補強鉄線付 植生マット
侵食防止強化マット
ヤシ繊維ネット付 植生マット

注1) 土壤酸度の改善措置が不可能な場合はブロック張工等の構造物工のみの適用を検討する。
 注2) 吹付厚さは緑化目標も考慮して決定する。
 注3) 植生マットを適用する場合には、法面条件に対応した厚さの植生基材が封入されたもので、その機能が同条件での植生基材吹付工の吹付厚さに対応した製品を使用する。
 注4) 一般的土質の盛土法面の場合、「C：法面条件を基にした植生工の選定フロー（草本類播種工等）」に準ずることも可能である。
 注5) 現場条件によっては、フローと異なる工法を選定することもある。
 注6) ※(K-) は亀甲金網付仕様である。